

〈CONTENTS〉

- + P01- 企業理念
- + P03- 事業領域
- + P05- サーモスブランドについて
- + P06- タグライン
- + P07- サーモスの歴史
- + P09- サーモスの技術 / 様々なサーモス製品
- + P12- OTHER BRAND
- + P13- 暮らしの中のサーモス
- + P15- 業務体制
- + P19- 世界のサーモス
- + P21- サステナビリティ

THERMOS

サーモス株式会社



THER

CORPORATE VISION

企業理念

**人と社会に快適で
環境にもやさしい
ライフスタイルを提案します。**

豊かで快適な生活を追求することは、時として環境を犠牲にします。私たちは「利便性」と「環境保護」を両立させることを使命と考え、保有する断熱技術をはじめとした、様々な技術と創造力で省エネルギーに貢献するとともに、快適なライフスタイルを実現する新しい価値を提供していきます。





魔法びんのパイオニアとしてスタートした サーモス株式会社のものづくり

私たちは、長年にわたって培ってきた確かな技術と、
お客様のニーズに応える力で、新しいライフスタイルを提案する
多くの製品を生み出してきました。企画・開発・生産・販売の一貫体制により、
新しいアイデアを形にすることで製品を生み出し、徹底した品質管理によって
高いクオリティを維持しています。これからも徹底したこだわりや情熱を持ち続け、
お客様により良い暮らしをお届けしていきます。

RMOS





BUSINESS

事業

サーモス株式会社は高
人々の暮らしを豊かにする製品

サーモス株式会社

THERMOS K.K.

サーモス株式会社の歴史は、1976年に始まりました。それは同時に新しい価値を生み出してきた歴史でもあります。1978年、日本酸素株式会社（現・日本酸素ホールディングス）が世界初の高真空ステンレス製魔法びん「アクト・ステンレスポット」を製品化。それまで主流だったガラス製魔法びんとは一線を画す、“割れない魔法びん”を世界で初めて発売し「ステンレス製魔法びん」という新たな領域を創出しました。その後も次々と新発想の製品を発売。日本酸素株式会社は、1989年に世界中のサーモス社を傘下におさめ、2001年にサーモス株式会社設立に至ります。



家庭用品

サーモスのコアとなる真空断熱技術を活かし、家庭用品事業を展開。ステンレス製魔法びんやキッチン用品、アパレル小物など様々なアイテムをラインアップ。



SS FIELD

領域

高い品質にこだわり、
の開発・販売を行っています。



業務用製品

飲食店、ホテルや学校給食向けに、食缶、ポット、おひつなどの業務用断熱用品を製造・販売。法人向けにも真空断熱技術を応用した製品の提供を行っています。



直販事業

“サーモス製品のある毎日”をサポートする直営店を展開。また、公式オンラインショップも運営し、人々の多様な暮らしに寄り添います。



サーモス直営店（アウトレット含む）
※2026年2月現在 26店舗展開

ABOUT THE THERMOS BRAND

サーモスブランドについて

120年以上の歴史を持つサーモスブランド。
時代とともに歩みながら、どんなときも、
人々の暮らしに便利さと快適さを届けてきました。



サーモスブランド

THERMOS BRAND

サーモスブランドの誕生は1904年。ドイツのガラス職人ラインホルト・ブルガーがガラス製の真空びんを保護用の金属ケースで被うことを考案し、ガラス製魔法びんを世界で初めて製品化したのが始まりです。その後、イギリス・アメリカ・カナダでサーモス各社が設立され、ガラス製魔法びんのブランドとして世界中に広がっていきました。ブランド名はギリシャ語の「熱」= THERMOS <テルモス> に由来し、英語読みで“サーモス”となります。

日本とサーモス

明治時代には日本に登場。1908年の日本の広告では「驚くべき発明なる寒暖びん」と表記してドイツサーモス社製の魔法びんを紹介しています。



世界とサーモス

1935年のイギリスの広告では、水筒や水差し、フードジャーなどの様々なタイプの製品を紹介。当時から人々の生活に合わせたアイテムの開発・提案に力を入れていたことがわかります。





TAGLINE

タグライン

次の心地よいをつくる。

つめたい。あたたかい。

温度とは、誰かにとってのよろこびとなる。

魔法びんのパイオニアである私たちサーモスは、
そのことを誇りに思います。

おいしい温度をあきらめないこと。

温度だけではない、新たなチャレンジへと向かうこと。

技術と品質とアイデアで、日々に、次々と

心地よいをつくってゆくこと。

私たちは、サーモスです。



HISTORY OF THERMOS

サーモスの歴史

ブランドのスタートから現在にいたるまで、サーモスの技術は一步一步前進してきました。その歩みを紹介します。



1904

● サーマスブランドの誕生

ドイツのベルリンにて、ガラス職人のラインホルト・ブルガーが「THERMOS G.m.b.H. (テルモス有限会社)」を設立。サーモスブランドが誕生。ガラス製魔法びんの生産を開始。

1930



● 暮らしに広がるサーモス製品

1930年には英国王室から「英国王室御用達」であることを示す紋章を自社製品につける権利を取得。このころには世界中で認知され、信頼を獲得。



1950年代

● 戦後には様々なデザインや美しいカラーの製品が多数発売された。特別な環境下ではなく一般の家庭でも人気を博していく。

1978



● 世界初の高真空ステンレス製魔法びん「アクト・ステンレスポット」誕生

世界初の高真空ステンレス製魔法びんを日本酸素株式会社(現:日本酸素ホールディングス株式会社)が開発。このステンレス製魔法びんはガラス製の弱点を克服し、割れない画期的な魔法びんとして、大きな進化を遂げた。

1989

● 日本酸素株式会社(現:日本酸素ホールディングス株式会社)がイギリス、アメリカ、カナダのサーモス事業を買収、世界中のサーモス各社を傘下に収める。以降、魔法びんのパイオニア「サーモス」として、真空断熱を応用した様々なアイテムを提案。

1998

● 業界初! 真空断熱スポーツボトル(FBE-500/700)発売
魔法びんから直接飲むことができる保冷専用の「スポーツボトル」を発売。新しいジャンルの製品を生み出し、いまやスポーツシーンには欠かせないアイテムとして愛用されている。



1999



● 初代真空断熱ケータイマグ(JML-351F)発売

サーモスの定番アイテム「ケータイマグ」の初代製品。冷たい飲みものも温かい飲みものも直接口をつけて飲めるのが特徴。水筒を持ち歩くのが一般的ではなかった時代に、飲み物を手軽に持ち歩くスタイル

2001

サーモス株式会社設立

日本酸素株式会社サーモス事業部と製造を担ってきた株式会社日酸サーモを統合し、サーモス株式会社を設立。



2009

真空断熱
フードコンテナ (JBD-240/360) 発売

1990年代から、アメリカのサーモスで人気を博していたアイテムを日本向けに改良。温かいスープを持ち運ぶスタイルが日本にも普及するきっかけになった。



2012

真空断熱
ケータイマグ (JNL-350/500) 発売

“サーモス史上最軽量モデルのケータイマグ”として発売開始後、数カ月で100万本を超える大ヒットを記録。2024年にはシリーズ累計3,000万本以上を超え、現在も多くのユーザーから支持を獲得している。



2019

「KITCHEN+」シリーズ フライパン発売

サーモスの製品開発で培った技術と経験を生かし、新たに「KITCHEN+ (キッチンプラス)」をスタート。独自のコーティングで高い耐久性を実現したフライパンや、料理の幅を広げるセットなどを発売。



2024



サーモスブランド誕生120周年

1904年のサーモスブランド誕生から、2024年で120周年を迎えた。人々の暮らしをより快適にするため、これまで技術とアイデアを追求してきたサーモス。これからも確かな品質と豊かなアイデアでライフスタイルを創造することを使命に、「次の心地よいをつくる」製品を創出していく。

新サブブランド
「& ONDO (アンドオンド)」
アパレル小物発売

飲みものや食べものの温度を追求し続けるサーモスが、カラダの熱を蓄え、保温するという温度の新領域にチャレンジ。サーモス独自開発の極起毛を使ったルームソックスやチタンコート採用のビーズウォーマーなど、熱を蓄える機能で保温する製品を展開。



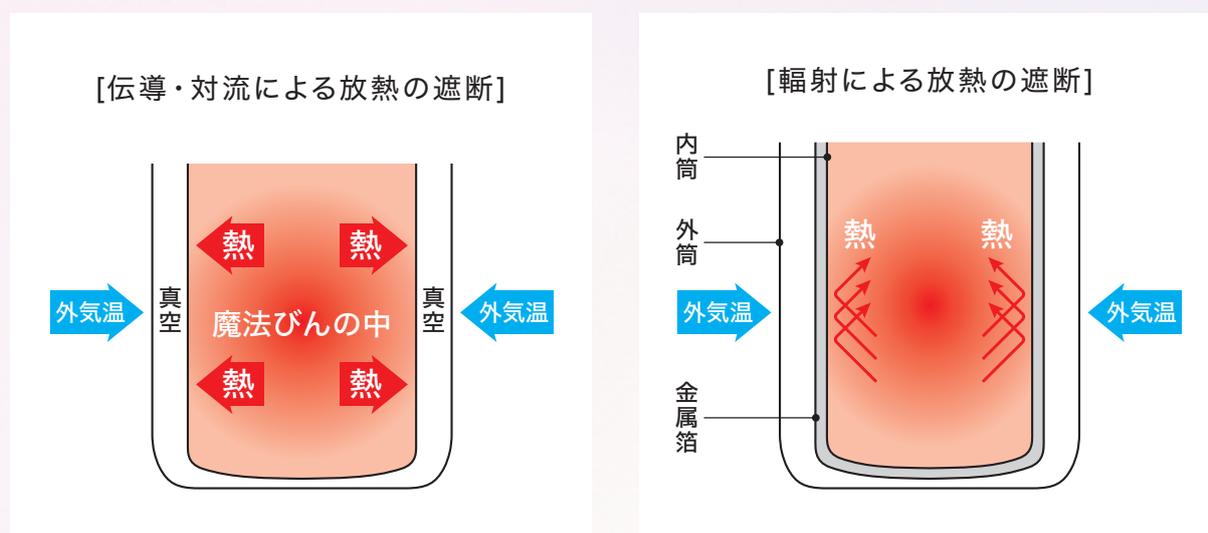
を提案。

TECHNOLOGY

サーモスの技術

魔法びんの秘密

サーモスの魔法びんの特長は「真空断熱技術」にあります。内筒と外筒を二重構造にしただけの空気二重構造と、真空状態で断熱する魔法びん構造では、その断熱効果が大きく異なります。とくに、ステンレス製魔法びんの内筒と外筒の間は1,000万分の1気圧以下。この高真空状態が伝導・対流による放熱を防ぐのです。また、内筒の外側に金属箔を巻きつけることで熱を反射させ、輻射による放熱も抑えて保温効果を維持します。この「高真空の壁（真空断熱層）」を生み出すサーモスならではの特殊製法により、高い保温・保冷性能を実現しています。



THERMOS PRODUCTS

様々なサーモス製品

サーモスのベストセラー 真空断熱ケータイマグ

2012年の発売以来、多くの人々に愛され、累計販売数3,000万本を突破した※JNLシリーズ。サイズやカラーのバリエーションも豊富で、一人ひとりの暮らしにフィットするアイテムを選べるラインアップが魅力です。

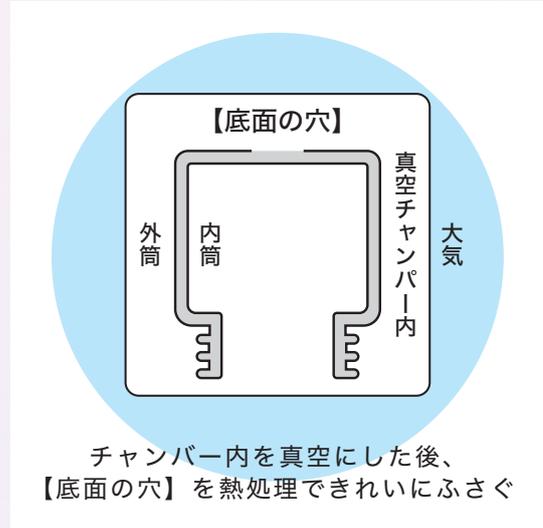
※2024年4月末時点で日本国内で販売されたJNLシリーズの累計



保温・保冷性に優れ、温度をキープするサーモスの魔法びんの秘密をご紹介します。

サーモスならではの 特殊製法と品質管理

サーモス製品は「真空断熱層をつくる技術」と「徹底した品質管理」に支えられています。なかでも真空状態を保ったまま溶接する技術は、サーモス独自のものです。さらに、様々な試験項目を繰り返し検査することにより、高品質を維持しているのです。



ステンレス製魔法びんの生産工程 (概略)



サーモスの真空断熱技術を用いたアイテムは、多彩なシーンで活躍しています。

大切なお客さまや子どもたちに 「作りたてのおいしさ」を味わってもらう レストランや学校給食などの業務用製品

安全性と衛生的な仕様にこだわり、子どもたちにつくりたてのおいしい食事を届ける「学校給食用製品」。和・洋それぞれにあわせたデザインで、食卓の空間演出にも貢献する「ホテル・レストラン用製品」。大勢のお客さんがいるところでも、調理や配膳の効率化に役立つ「施設・病院用製品」を開発。いつでもどこでも、温かくおいしい食事を提供します。



THERMOS PRODUCTS

様々なサーモス製品

“サーモスらしさ”を大切にしながら、

人々のライフスタイルの変化に合わせた製品開発にも取り組んでいます。



毎日の料理を楽しく便利に。 サーモスのキッチンアイテムシリーズ

毎日の料理に役立つアイテムを提案したいという思いから、フライパンや包丁などのキッチンアイテムを中心としたシリーズ「KITCHEN+」(キッチンプラス)を展開。サーモス製品による快適な“切る・焼く・炒める・煮る・保存する”調理シーンを提案します。



様々なシーンで変化する “温度”をセルフケアしながら快適に過ごせる サーモスのアパレル小物

サーモスでは生活の中にさらなる「心地よさ」を届けるため、温度にまつわるストレスのひとつである「冷え」に着目したサブブランド「&ONDO (アンドオンド)」を展開しています。“温度によるセルフケア”をコンセプトに、サーモス独自の技術と発想を活かし、肌に触れる心地よさや温かさを追求したアイテムを提案しています。





OTHER BRAND

私たちが展開するのはサーモスブランドだけではありません。
魅力的な他ブランドをご紹介します。



スタイリッシュなデザインが 世界中で愛されている ドイツの高級魔法びんブランド

1914年にドイツで設立され、100年以上ものあいだ、一流ホテルや高級レストランで愛用されている高級魔法びんブランド「アルフィ」。アルフィは、2014年にサーモスグループに加わり、グローバルブランドとして、ヨーロッパのみならずアジアやアメリカでもその販路を拡大。多くの人々を魅了してきた端正な造形美と柔らかな光沢はそのままに、ラインアップを充実させ、価値ある製品を世界中に広げていきます。



LIFESTYLE with THERMOS

暮らしの中のサーモス

職場、スポーツ、学びの場……

サーモス製品は、日常生活のあらゆるシーンで
世代を問わず愛用されています。





私たちは、真空断熱技術によって飲みものや食べものの「保温や保冷」、さらには「製品の使い勝手の良さ」や「お手入れのしやすさ」を提案しながら、サーモス製品を使うすべての人が「心地よい」と感じる瞬間を目指してきました。

飲食物の保温や保冷はもちろん、より人々の生活に寄り添った新たなチャレンジも含めて、これからもサーモスは未来へ歩んでいきます。

OPERATIONAL STRUCTURE

業務体制



より多くのお客さまにサーモス製品を届けるべく、販売店に対して最適な販売戦略を提案・実行。また直営店では充実したラインアップを通して、一般のお客さまに「サーモス製品のある毎日」をご提案しています。

戦略立案

提案営業

ECストア

直営店

CRM

新たな市場を創造する

サーモスは製品の企画から製品開発、
を取り入れています。そうして各部門
社会へ快適なライフスタイルを提供す
ました。「品質へのこだわり」「アイ
の精神」を行動指針に掲げ、世界中の



サーモスの一貫体制

生産、販売までを自社で行う一貫体制が連携しながら製品を生み出し、人々の企業としてのこだわりを形にしてきた「アイデアの発想」「チャレンジとチェンジ」がお客様から高い信頼を得ています。



お客様の声や市場調査を元に、新製品の企画提案や戦略立案を実施。人々のライフスタイルをより良いものにするために、新たなニーズに応えます。

市場調査

製品企画

広告

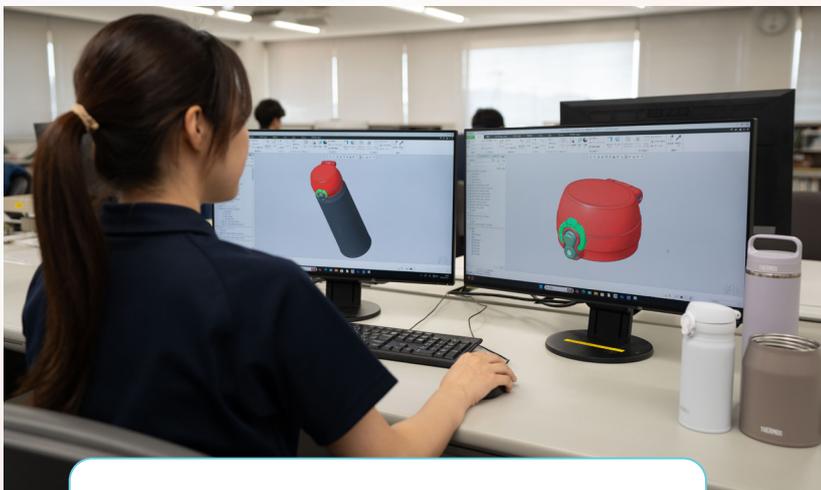
プロモーション

PR・広報

マーケティング

RMOS

開発



製品の開発に伴う構造の検討や設計を実施。徹底した品質規格試験と安全審査を重ね、安心してお使いいただける製品を生み出しています。また、製品開発に留まらず、新技術の開発・研究にも注力しています。

製品開発

研究開発

品質管理

生産

設計



OPERATIONAL STRUCTURE

サーモスの業務は4つの

業務体制



マーケティング

市場動向や消費者ニーズ、独自の調査などによる多角的な視点で新製品を企画する部門。製品コンセプトを明確化し、トレンドを取り入れつつユーザーが使いやすいプロダクトデザインに仕上げていきます。また、広告戦略の立案や営業と連携した販売促進ツール及びキャンペーンの実施など、効果的なプロモーションも行います。



技術・開発

マーケティング部が企画した製品の構造を検討し、設計。生産工場とも密接な連携を取りながら、製品の開発を進めています。さらに、基礎研究を通じて新たな技術を開発し、新しい原料・材料の導入も検討。サーモスが長年培ってきたノウハウや知見を活かした、新たな技術を生み出していきます。

柱で構成されています。各部門が連携しながら、お客さまのもとへ製品をお届けしています。



生産・品質管理

サーモスでは、工場での生産工程においても、独自の厳しい品質管理基準を設定しています。保温・保冷性能試験をはじめとする徹底した品質規格試験を繰り返し行い、各国すべての生産工場が高い品質の製品を生み出しています。同時に、新たな生産設備の導入により、上質な製品を効率よく生産できる仕組み作りにも励んでいます。



営業活動

取引先の売上増加に貢献するべく、販売動向の分析をもとに全体最適の視点に立った営業活動を実施。サーモス製品に留まらず、取引先のニーズに合わせて総合的な販売プランを提案します。また、サーモス直営店・公式オンラインショップの運営も行い、みなさんの「サーモス製品のある毎日」をサポートします。



GLOBAL NETWORK

世界のサーモス

世界をリードする魔法びんブランドとして愛されるサーモスは、
様々な気候や環境の中でお客さまの期待に応えてきました。
私たちはこれからも、グローバルに「次の心地よい」をつくっていきます。

- 1 サーマス株式会社 / 日本
- 2 Thermos Korea Co., Ltd. / 韓国
- 3 膳魔師(中国)家庭制品有限公司 / 中国
膳魔師(江蘇)家庭制品有限公司 / 中国
膳魔師(淮安)家居用品有限公司 / 中国
- 4 皇冠金属工業股份有限公司 / 台湾
- 5 Thermos Hong Kong Limited / 香港
Thermos International Trading Limited / 香港
- 6 Thermos International Trading Macau Limited / マカオ
- 7 Top Thermo Mfg.(Malaysia) Sdn.Bhd. / マレーシア
Thermos Malaysia Sdn.Bhd. / マレーシア
Vacuum Tech Mfg.(Malaysia) Sdn.Bhd. / マレーシア
- 8 Thermos(Singapore) Pte.Ltd. / シンガポール
- 9 PT Thermos Indonesia Trading / インドネシア
- 10 Vacuumtech Philippines Inc. / フィリピン
- 11 Thermos Pty Ltd. / オーストラリア
- 12 Thermos L.L.C. / アメリカ
- 13 Canadian Thermos Products Inc. / カナダ
- 14 alfi GmbH / ドイツ
- 15 UK Thermos Limited / イギリス
- 16 Thermos Rus LLC / ロシア



● サーマス株式会社





● 販売会社 ● 生産工場



SUSTAINABILITY

サステナビリティ

Our Goal

—サーモスが目指す未来、ありたい姿—

私たちは未来にあるべきサーモスの姿として、「人と環境にやさしいサーモス」というサステナビリティテーマを掲げています。さらに具体的な4つのテーマ（下記）を指針とし、私たちが将来に向けて取り組むべきSDGsへの貢献活動を規定しています。

より豊かで快適な生活につながる商品やサービスを皆さまにお届けしながら、地球環境への負荷低減に力を尽くすことは私たちが果たすべき重要な使命と考えています。これまで培った様々な技術と創造力をさらに活かし、人と社会と環境がよりよく持続する世界の実現に向けて、社会の一員として責任を持ち、積極的なサステナビリティ活動に取り組んでまいります。

企業理念

『人と社会に快適で環境にもやさしい
ライフスタイルの提案』

サステナビリティテーマ

人と環境にやさしい
サーモス

4つのテーマ

-  人を笑顔にする企業
-  環境循環型企業
-  サステナブルなモノ作り
-  地球の未来を守る

サーモスの取り組み

About Our Action

—サーモスの取り組み—

サステナブルな社会の実現のため、私たちサーモスのテーマと取り組みをご紹介します。



「環境循環型企業」

循環型社会実現のため、サプライチェーン全体で、資源から廃棄まで可能な限り循環させる企業になります。



「地球の未来を守る」

自然や生物の多様性、豊かな資源や動植物、安全で安心な環境を次世代に残すことで、地球と人類の未来を守ります。



「人を笑顔にする企業」

当社は、すべてのステークホルダーと社会をより笑顔にする企業になります。



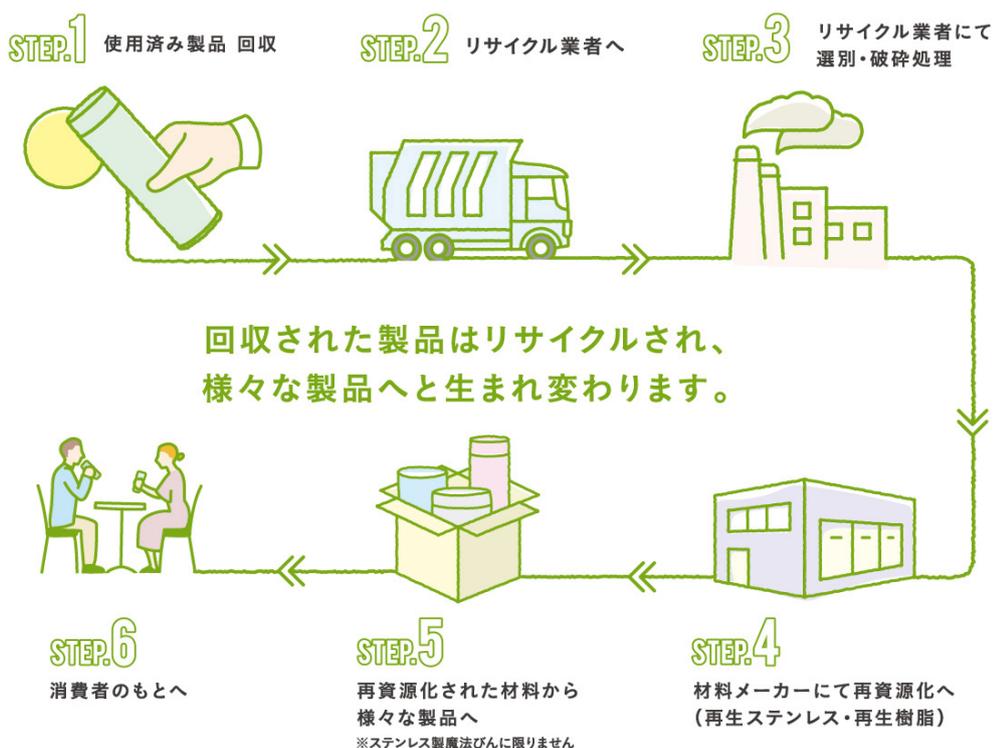
「サステナブルなモノ作り」

現在と未来の豊かさ、あふれる豊かさを追求

サーモスは、事業を通して社会課題を解決する サステナビリティ経営を行っています。

使用済みステンレス製魔法びん 回収サービス

サーモスでは、他社製品を含む、ご不要になったステンレス製魔法びん（真空断熱構造）を一部店舗で回収しております。2026年2月現在、直営店22店舗にて回収を実施中。2023年のサービス開始から2025年12月末までに約3,200kg、サーモスJNLシリーズ（0.5Lサイズ）換算で約15,000本分相当を回収しました。回収されたステンレス製魔法びんは、リサイクル業者によって破碎・選別されたのちに再資源化。その後、ステンレス製魔法びんに限らず様々な製品に生まれ変わります。今後もこの取り組みを継続し、回収量の拡大を目指しながら、さらなる環境保護に尽力いたします。



「ダブルなモノ作り」
の豊かさ、人と自然の
からゆるる人の暮らしの
実現するモノ作りを
追求します。

サーモス株式会社

| | |
|---------|---|
| 商号 | サーモス株式会社 |
| 代表取締役社長 | 片岡有二 |
| 設立 | 1980年 |
| 資本金 | 3億円 |
| 社員数 | 292名(2025年12月現在) |
| 所在地 | [本社] 東京都港区芝4-1-23三田NNビル [中部営業所] 愛知県名古屋市中区栄4-15-32日建・住生ビル [関西営業所] 大阪府大阪市中央区安土町2-3-13大阪国際ビルディング [九州営業所] 福岡県福岡市博多区博多駅南1-3-6第3博多借成ビル [新潟事業所] 新潟県燕市吉田下中野1435 |
| 株主 | 日本酸素ホールディングス(株)(全額出資) |
| 関連会社 | Thermos Korea Co., Ltd./韓国 膳魔師(中国)家庭制品有限公司/中国 膳魔師(江蘇)家庭制品有限公司/中国 膳魔師(淮安)家居用品有限公司/中国 皇冠金属工業股份有限公司/台湾 Thermos Hong Kong Limited/香港 Thermos International Trading Limited/香港 Thermos International Trading Macau Limited/マカオ Top Thermo Mfg. (Malaysia) Sdn.Bhd./マレーシア Thermos Malaysia Sdn.Bhd./マレーシア Vacuum Tech Mfg. (Malaysia) Sdn.Bhd./マレーシア Thermos (Singapore) Pte.Ltd./シンガポール PT Thermos Indonesia Trading/インドネシア Vacuumtech Philippines Inc./フィリピン Thermos Pty Ltd./オーストラリア Thermos L.L.C./アメリカ Canadian Thermos Products Inc./カナダ alfi GmbH/ドイツ UK Thermos Limited/イギリス Thermos Rus LLC/ロシア |

©THERMOS 2026

当会社案内を構成するすべての著作物(写真、図形、ロゴマーク、イラスト、文章、デザインなど)に関わる著作権は各国の著作権法、各種条約およびその他の法律で保護されています。また、当カタログ上で表示する商品等の名称に関わる商標権は、当該著作物を制作した当事者であるサーモス株式会社及び、原著作者もしくはその所有者に帰属しています。したがって、法律によって明示的に認められる私的使用の範囲を超えて、事前の許諾なく、これらの著作物を使用することは、メディア・手段の如何を問わず固く禁止します。

※2026年2月発行